

平成26年9月10日
 千葉県健康福祉部
 疾病対策課
 043-223-2672

感染症予防のための情報提供について

病名	デング熱（国内感染症例）		
住所	松戸市	年齢・性別	50歳代 ・ 男性
症状等	頭痛・発熱・筋肉痛・ 骨関節痛・発疹・血小板減少・白血球減少	行動歴等	1か月以内の海外渡航歴や、 代々木公園付近等への訪問歴無
発病年月日	平成26年8月30日	届出年月日	平成26年9月9日

松戸市在住の50歳代の男性が、8月30日に下痢を呈して発症、9月1日に39℃台の発熱を呈し、柏市内の医療機関を受診した。

症状が改善しないため、9月4日に松戸市内の医療機関を受診し、同日入院となった。

9月9日、千葉県衛生研究所で実施した血液検査の結果から、デング熱と診断され、医療機関から松戸保健所にデング熱の発生届があった。

当該患者に対する調査の結果、1か月以内の海外渡航歴や、これまでに感染の可能性が疑われている代々木公園周辺等への訪問歴はなかった。

この患者の発症前の行動歴及び刺咬歴から、感染場所は当該患者の勤務地（東京都台東区）の周辺であると考えられる。

〔患者発生の経過〕

8月28日まで会社に出勤。（蚊の刺咬歴あり）

8月30日 下痢症状、8月31日 倦怠感を呈した。

9月1日 高熱を発し、柏市内の医療機関を受診。

9月4日 症状が改善しないため松戸市内の別の医療機関を受診、同日入院。

9月9日 県衛生研究所の検査結果によりデング熱と診断され、医療機関より松戸保健所が発生届を受理。

症状が改善したため、退院。

9月10日 国立感染症研究所において、詳細なウイルスの検査を実施中。

〔県内の発生状況（デング熱届出数）〕

*（ ）内は国内感染例で内数。

	H21	H22	H23	H24	H25	H26
千葉県	7	27	4	14	20	12（5）
全国	93	244	113	221	249	—

（平成26年の千葉県分は9月10日現在（本件分を含む）。全国分は集計中。）

（県民の皆様へ）

戸外に出るときは、長袖、長ズボンを着用するなど肌の露出をなるべく避け、虫さされ防止薬を適正に使用するなど、蚊にさされないような工夫を心がけてください。

蚊に刺された後、3～7日程度で高熱がみられた時は、早めに医療機関を受診して下さい。

また、デング熱に関するご相談は、最寄りの保健所へ御相談下さい。

【参考】

デング熱とは

1 発生状況

- アジア、中南米、アフリカなど熱帯・亜熱帯に広くみられる。
- 60年以上、国内における感染報告はなかったが、2014年8月以降報告が続いている。

2 感染経路

- ヒトからヒトの直接的な感染はない。
- 患者を刺し、ウイルスを保有した蚊が媒介して感染が広がる。

3 潜伏期間

- 3～7日が多い。

4 症状

- 突然の発熱、激しい頭痛、関節痛、筋肉痛、発疹。
- 感染しても発症する頻度は10～50%。
- 予後は比較的良好だがまれに重症化することがある。
- 潜伏期間は2～15日と言われており、多くは3～7日で発症する。

5 治療

- 対症療法を行う。
- 有効な抗ウイルス薬はない

6 予防法

- 長袖、長ズボンを着用し、素肌でのサンダル履き等は避ける。
- 虫除け剤の使用等によって、屋外だけではなく屋内でも蚊に刺されないように注意する。
- 室内の蚊の駆除を心がける。
- 蚊幼虫の発生源を作らないように注意する。
- 有効なワクチンはない